

2016年4月2日〔土〕—6月4日〔土〕

◎ ZEN MUSEUM 花園大学歴史博物館

東京湯島麟祥院の靈宝

初公開

■開館時間＝10：00～16：00（土曜日は14：00まで）  
日（木・祝）・6日（金）※但し、大學行事により臨時休館する場合があります。  
■休館日＝日曜日、5月5  
園大学歴史博物館・公益財團法人禪文化研究所 ■主催＝花  
■お問い合わせ＝花園大学歴史博物館・花園大学入試課広報担当  
〒604-8456 京都市中京区西ノ京壇ノ内町8-1  
TEL (075) 811-5181<sup>代</sup> FAX (075) 811-9664  
<http://www.hanazono.ac.jp>

Masterpieces of Zen Culture from Rinshoin

島 湯 麟 祥 院



春日局と峨山慈棹



# 湯島 麟祥院

春日局像 狩野探幽筆 江戸時代（17世紀）  
京都・麟祥院  
《後期》

春日局像 狩野探幽筆 江戸時代（17世紀）  
東京・麟祥院  
《後期》

本展覧会では、二〇〇八年に開催しました、京都花園・麟祥院の文化財を紹介する展覧会「春日局ゆかりの寺 麟祥院展」につづき、東京湯島・麟祥院に蔵される文化財を紹介します。同寺は昭和二十年（一九四五）三月の東京大空襲により、諸堂宇とともに多くの寺宝が失われたといわれています。しかし、その災禍をくぐり抜けた文化財も数多く遺つており、今日にまで護り伝えられています。これらの文化財がまとまって寺外にて展観されるのは本展が初めての試みであり、その大半が未紹介作品です。

同寺に伝来する品々は実に多彩です。春日局に関する資料はもとより、白隱慧鶴（一六八五～一七六八）門下の傑僧として名高い麟祥院一世・峨山慈棹（一七二七～九七）の遺墨をはじめとする禅画の数々。そのなかには、白隱とその門下による初公開作品が含まれます。さらに、永い歴史のなかで蓄積された、同寺ゆかりの美術作品が蔵されています。

本展は、禅文化研究所デジタルアーカイブ事業との共同調査の成果として、これまで紹介されることがなかった絵画作品にも注目し、その優品を紹介します。また、禅に帰依した春日局の姿とともに、春

日局菩提寺としての麟祥院の魅力に迫ります。

【前期】4月2日〔土〕～5月7日〔土〕  
【後期】5月9日〔月〕～6月4日〔土〕  
※大幅な作品の展示替を行います。

東京と京都の春日局像、同時に公開。

7



【1】渭川周瀏像 順海慈湛賛・円水宜宣筆 江戸時代・明和3年（1766）《前期》 【2】蓑笠・槌・袋図 白隱慧鶴自画賛 江戸時代（18世紀）《後期》 【3】虚堂智愚像 月船禪慧贊・遂翁元盧筆 江戸時代（18世紀）《後期》 【4】十六羅漢図[16幅のうち] 南北朝時代（14世紀）《通期》※前・後期にて8幅ずつ展示】 【5】布袋図 河鍋曉斎筆 江戸時代～明治（19世紀）《前期》 【6】豊干・寒山拾得図 江戸時代（18世紀）《後期》 【7】達磨慧可対面・龍虎図[部分] 狩野典信筆 江戸時代（18世紀）《後期》 【8】槌子図[部分] 峨山慈棹自画賛 江戸時代（18世紀）《前期》 ※【1】～【8】は、すべて東京・麟祥院所蔵資料。

## 記念講演会

[会場] 花園大学 教堂 入場無料・申込不要・先着150名

2016年4月13日〔水〕 13:00～14:30

「湯島麟祥院の歴史」竹貫元勝氏（花園大学名誉教授・正眼短期大学特任教授）

2016年5月20日〔金〕 13:00～14:30

「春日局像と狩野探幽」山下善也氏（東京国立博物館学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室主任研究員）

※各講演会終了後、15:00より展覧会場にてギャラリートーク（本展の担当者による展示作品の解説）を開催いたします。

【記念講演会に関するお問い合わせ】

○ 公益財團法人 禅文化研究所

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1 花園大学内

TEL(075)811-5189 / FAX(075)811-1432

<http://www.zenbunka.or.jp>

